

平成24年度事業報告書

社会福祉法人武蔵野会
東堀切くすのき園

平成24年度 東堀切くすのき園 事業報告書

1. 施設運営・支援状況報告

(1) 施設運営

平成24年度も法人理念「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」に基づき事業を行った。

本年度は、利用者定員50人に対して55人の受け入れ（新規利用開始2人）を行った。利用者通年登園率は昨年度(85.6%)を上回る88.1%であった。土曜登園日は前年度と同日数(10日間)とし、平均登園率は72.9%で、前年度に比べ増加傾向であった。緊急一時、短期入所、ケアホーム設置等の要望が一層高まっているため、家族支援の困難化が顕著となっている。

利用者実人員増、登園率上昇、障害程度区分の上昇（重度化）に伴う給付費単価増、各種加算の取り込みにより施設収入は順調に推移した。今後も収入額に見合った、常勤職員配置や施設設備の整備、研修体制の充実にあてたい。

職員については、4月に常勤職員を新規で3人（うち2人は、契約職員から繰り上げ）採用し、他施設から異動職員を1人迎えた。年度途中で常勤職員の退職者が1人いたが、契約職員の採用で充当した。その他、11月から区内法人他事業所に常勤職員が1人出向、年度末で常勤職員が1人退職した。サービス管理責任者は支援係長が兼任し、利用者支援の進捗管理を行った。嘱託医、音楽療法士、理学療法士に変更はなかった。有期契約職員は例年のような出入りは非常に少なく、安定した勤務体制が可能となっている。新年度を見越した増員もスムーズであった。

利用者権利擁護の取り組みについては、人権に関する研修に参加したほか、朝礼時に「倫理綱領」の読み上げを行った。形式的になることを避けるため、読み上げ後に職員の思いをワンコメントで残すことにより、倫理綱領の意識付けと定着に心掛けた。行動制限廃止委員会は、行動抑制に対する家族の承認を得て、日々の支援を通じ行動制限の範囲縮小に努めている。個々の事案の具体的取り組みについては少しずつ改善の兆しが見られつつある。障害程度が重度であり、保護者が身体拘束に肯定的であるため解決すべき課題が非常に多いことに変化はない。

事業運営全般については、5月に開所10周年記念式典を利用者参加のもと開催し、葛飾区長をはじめとする多くの来賓とともに祝った。

(2) 支援状況

平成24年4月は、特別支援学校を卒業した新規利用者1人と他県から転入した1人が利用を開始し、55人の現員でスタートした。利用者グループ体制については、前年度に引き続き男女別グループを含む5グループ体制を継続した。同性グループ同士での協力や、必要に応じて混合グループを構成するなど、臨機応変に利用者支援が展開され、より濃密な支援が可能となっている。

家族サポートについては昨年同様利用者支援の延長線上にあるという位置づけで積極的に行った。具体的には、日常生活相談業務をはじめとして嘱託医師との健康相談や栄養相談。あるいは、緊急一時入所時の、入所施設との連絡調整等、本来は家族が独自に行っていくものではあるが、個々の家庭の状況によっては積極的に関与を行った。

土曜開所の状況は、若干利用率が上がっている。中には100%登園する方もおり、引き続きニーズは高いと考えている。

理美容サービスは3年目を迎えたが、利用者と施術者との関係性も高まり安定した提供ができた。一方で、質の向上を望む保護者の声が継続的にある。

自己都合による長期欠席者の状況は、引き続き家族を含めて支援を継続しているが、家庭内での対応に限界があり改善傾向はあまり見られていない。

(3) サービス評価と苦情解決

福祉サービス第三者評価受審については、昨年同様利用者聞き取り調査、保護者アンケート、職員アンケート、経営層合議を経て、標準項目を全て満たしているとの評価を得た。特に評価された点は、①「重い障害でも自分の意思を選択・決断できるよう、活動内容を工夫するなど、職員一丸となって支援している」②「利用者一人一人をあるがままに理解し、必要な支援をきめ細かく実践するこ

とを目指し、家族とともに本人が望む支援体制の構築に努めている」③「食事は利用者の意向の反映や楽しみとなるよう積極的に取り組むとともに、ペースト食も常食同様にデコレーションして提供している」であった。さらなる改善が望まれる点は、①「グループ支援は強化されたものの、グループを超えた利用に伴う利用者の意向や課題を共有し、さらなる支援の質の向上に期待したい」②「職員業務の見直し・業務改善をより一層図ることが余裕のある体制につながり、さらなるサービスの質の向上につながることに期待したい」③「マニュアルの点検は行っているものの、見直しや改定の必要性を事業所が認識していることからその実現に期待したい」が、挙げられた。家族家庭支援は大きな課題となりつつあり、通所事業所の居宅支援の方向性を真剣に検討する時期になっていることは認識しているが、具体的な検討作業は行うことができなかった。共同生活介護の取り組みも同様である。

利用者・保護者からの相談苦情申し立てに対する対応と第三者委員の取り組みについては、細かい相談や苦情はあったものの、日々の連絡帳や電話等で家庭と連絡を取り合っていたため、苦情解決規定に沿った処理を必要とする内容はなかった。第三者委員の取り組みについては、昨年同様、葛飾区社会福祉協議会職員と社協の紹介を受けた区内特別支援学校第三者委員の2名に委員を委嘱した。東堀切くすのき園、白鳥福祉館、きね川福祉作業所の3施設合同の取り組みとして行ったことは昨年同様である。

苦情解決責任者 施設長 岡部智彦
 苦情受付担当者 支援係長 本田直記

(4) 情報開示

施設広報誌を月1回の割合で発行した。うち隔月で地域及び関係機関へ配布を行った。引き続き、記事内容をビジュアル主体とすることで編集作業の負担軽減と、ご家族の好評を同時に得ることができた。苦情対応等の月次報告についても、情報提供が可能となった。事業所ホームページは、年度中に公開が完了し、法人・事業所情報をより細かくタイムリーに伝えられるようになった。

(5) 予算執行状況

最終利用者登園率が昨年度を上回るとともに、利用人数増、各種加算の取り込み、利用者障害程度の重度化に伴う給付費単価の上昇等により前年度比増収となった。このため財政面では一層の安定経営が可能であった。平成24年度中に、新年度葛飾区補助金額が内示され、前年度相当が担保されたことで平成25年度も安定経営が見込まれている。

平成24年度は、増収に伴って収支差額が増えたが、職員常勤化率の向上及び教育研究の一層の充実を図るとともに、施設設備の拡充にあてて行きたい。

2. 職員配置報告 (平成25年3月31日現在)

単位；人

		施設長	係長	主任	事務員	支援員	看護師	栄養士	嘱託医	P T	M T	合計
施設	男	1	1			10 (6)			(2)	(1)		12 (9)
	女			1	1	7 (12)	1	1	(1)		(3)	11 (16)
	計	1	1	1	1	17 (18)	1	1	(3)	(1)	(3)	23 (25)

*嘱託医師3名は、内科医・歯科医・精神科医

* () 内は、有期契約職員

*男性支援員1人は、法人内他事業所に出向中。

*主任は、育休取得中。

年間移動状況(平成24年4月2日~平成25年3月31日) * () 有期契約職員

	採用	退職	転入	転出
施設長				
係長				
主任				
事務員				
支援員	(5)	2 (2)		
看護師				
栄養士				
嘱託医				
P T				
M T				
合計	(5)	2 (2)	0	0

常勤職員状況は、自己都合により平成24年12月31日付で1名が退職。平成25年3月31日付で1名が退職した。平成25年度採用常勤職員数は、新任2人・転入1人の見込みである。

有期契約職員の入退職は、ほとんどなく非常に安定した1年であった。能力的にも非常に高い職員がそろっている。

3. 利用者状況について(平成25年3月31日現在)

(1) 利用者 現員55人(定員50人)

(2) 性別・年齢別等 (人)

	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	計
男	1	3	13	2	4	5	0	0	0	28
女	0	5	6	10	3	2	1	0	0	27
計	1	8	19	12	7	7	1	0	0	55

平均年齢：男 30.9歳 女 30.7歳 全体 30.8歳

(3) 障害程度等 (人)

		愛の手帳										小計		計	
		1度		2度		3度		4度		なし					
身障手帳		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1級	2	2	1	8	1		1				5	10	15	
	2級		1	3	4							3	5	8	
	3級			1								1		1	
	4級														
	5級														
	6級			2								2	0	2	
	なし		1	17	11							17	12	29	
小計		2	4	24	23	1	0	1	0	0	0	28	27	55	
計		6		47		1		1		0		55			

(4) 障害程度 (人)

支援費区分(非該当)				障害程度区分(平均区分5.3)							
	A	B	C	計	6	5	4	3	2	1	計
男					11	12	5	0	0	0	28
女					14	10	3	0	0	0	27
計					25	22	8	0	0	0	55

4. 会議報告

(1) 法人関係

会議名	回数	開催日	参加者
施設長会議	5	4/18 6/20 8/22 12/19 2/20	施設長
事務担当者会議	2	4/18 2/20	施設長 事務員
葛飾地区施設長会議	11	4/13 5/11 6/15 7/13 8/20 10/12 11/16 12/14 1/11 2/15 3/14	施設長
葛飾地区第三者委員会	12	4/3 5/8 6/11 7/4 8/7 9/5 10/3 11/5 12/3 1/7 2/5 3/4	施設長
葛飾地区役職者会議	2	4/4 6/26	施設長 係長 主任
本部PT (成年後見)	1	5/30	係長
本部種別分科会	2	6/27 10/2	施設長 主任

(2) 施設関係

会議名	回数	開催日	参加者
職員会議	13	4/10 4/28 5/26 6/23 7/21 8/21 9/15 10/13 11/10 12/8 1/5 2/2 3/2	全職員
支援計画会議		随時	職員
献立会議	12	4/13 5/16 6/14 7/13 8/16 9/13 10/16 11/9 12/11 1/16 2/14 3/14	栄養士 看護師 施設長 職員
運営会議	12	4/20 5/15 6/21 7/17 9/5 10/16 11/20 12/18 12/21 1/16 2/19 3/21	施設長 係長 主任 事務員
役職リーダー会議		毎週金曜日	主任 リーダー職員
行動の制限廃止委員会	4	4/24 6/25 11/6 2/28	施設長 職員
支援向上委員会	3	5/1 5/24 10/11	施設長 職員
業務改善委員会	2	5/7 6/28	施設長 職員
業務標準化委員会	1	8/16	施設長 職員

(3) 東京都社会福祉協議会

会議名	回数	開催日	参加者
部会役員会・幹事会	12	4/11 5/9 6/13 7/11 8/8 9/12 10/10 11/14 12/12 1/9 2/13 3/13	施設長
部会総会	3	5/23 10/17 1/30	施設長
部会全体会	1	6/28	施設長
都通研合同学習会	2	9/14 12/13	施設長
従事者共済会代議員会	3	5/15 10/18 3/12	施設長
東京大集会	1	11/19	施設長
賀詞交換会	1	1/8	施設長

(4) 区

会議名	回数	開催日	参加者
区内事業所施設長会	3	9/10 10/10 3/7	施設長 係長
避難所運営訓練	1	11/4	施設長
入所調整会議		10/10 1/21	係長
賀詞交歓会	1	1/4	施設長

(5) その他

会議名	回数	開催日	参加者
町会総会	1	4/29	施設長 主任
町会新年会	1	1/27	施設長 係長
地域ふるさと祭打合せ	7	4/5 5/10 6/14 7/12 8/6 10/4 2/7	係長
町会防災訓練	1	11/10	職員
ちづる上映会	1	3/5	施設長 職員

5. 研修報告

(1) 施設内

研修名	回数	開催日	参加者
コミュニケーションスキル	1	4/10	職員（全員）発表者（職員）
行動障害の理解と対応	1	4/27	職員（全員）発表者 [外部講師]
口腔衛生研修	1	5/22	職員（全員）発表者 [外部講師]
アロマセラピー研修	1	7/17	職員 29人

(2) 法人研修

研修名	回数	開催日	参加者
新任研修	1	4/1	職員3人
地区研修キックオフ	1	4/20	全職員
地区人事考課研修	1	5/8	職員3人
接遇マナーC研修	1	5/21	職員1人
クレーム対応研修	1	6/9	職員1人
東部地区考課者研修	3	6/26 8/21 9/18	係長 (6/26) 主任 (8/21) 施設長 (9/18)
ホスピタリティー研修	2	7/3・5	事務員
一般職員研修B	2	7/6 12/7	6~9年経験者 (看護師 栄養士 職員2人)
法人係長研修 (虐待防止)	1	7/9	係長
リスクマネジメントA	1	7/12	職員3人
法人人権セミナー	1	7/14	職員(全員)
法人事務員研修	1	7/19	施設長 事務員
ストレスマネジメント	1	7/23	職員1人
リスクマネジメントB	1	8/9	職員3人
記録の書き方研修	1	9/1	職員3人
リスクマネジメントC	1	9/13	職員3人 看護師
中核人材養成研修	1	9/18-19	職員1人
主任研修	1	9/21	主任
地区新任フォローアップ研修	3	9/3 10/5 10/19	職員3人
BCP推進研修 (防災士)	1	10/24-25	施設長
リスクマネージャー研修	1	11/17	職員1人

地区研修・成年後見	1	11/29	職員
一般職員研修C①	1	12/7	職員2人
業務標準化研修	1	12/8	職員1人
多面評価	1	12/19	施設長
虐待防止研修	1	1/15	職員1人
地区実践事例報告会	1	2/1	全員
一般職員研修C②	2	2/19 3/19	職員2人
多面評価研修	1	2/26	係長
大島新任研修	1	3/27-29	施設長 職員2人

(3) 外部研修

研修名	回数	開催日	参加者
社会福祉基礎能力向上研修①	8	4/5 5/14 6/7 7/23 9/12 10/15 11/12 12/13	職員4人
社会福祉基礎能力向上研修②	8	4/6 5/21 6/11 7/30 9/19 10/22 11/19 12/21	職員6人
重度知的障害者の支援向上研修	5	4/27 5/25 6/29 7/27 8/31	職員(全員)
全国施設長会議	1	6/4-5	施設長
障害者の虐待と支援者の課題	1	6/28	職員1人
自閉症コミュニケーション支援	2	6/30 7/1	職員4人
相談支援従事者初任者研修	1	7/3-4	主任
社会福祉法人会計基礎~新会計	1	7/19	事務員
東社協個別支援計画	1	7/28	職員1人
グループホーム交換研修	2	8/10 8/24	職員2人
会計事務基礎研修	3	8/24 8/27 8/30	事務員
東京都虐待防止権利擁護研修	1	8/29	施設長
古武術介護スキル	1	9/8-9	職員3人
東社協部会相談支援研修	1	9/14	職員1人
都障害者虐待防止権利擁護	1	9/18	職員1人
東社協中堅(中核人材養成)研修	1	9/18-19	職員1人
東社協他職種連携	1	9/19	事務員
摂食嚥下リハビリテーション	1	9/22-23	看護師
痰の吸引等実施のための研修①	1	9/25-26	係長 主任
東社協虐待防止法施行と責務	1	9/28	施設長
痰の吸引等実施のための研修②	1	9/29-30	施設長 職員1人
コミュニケーションスキル	1	10/1	職員1人
施設新会計実務研修会	2	10/2 10/4	事務員
ボディーマニクス研修	6	10/5 11/2 12/7 1/11 2/1 3/1	職員4人
自閉症トレーニングセミナー	1	10/18-19	職員1人
人材育成の進め方	1	10/19	職員1人
サービス管理責任者研修	1	10/30-31	主任
自閉症セミナー	1	11/17-18	職員1人
スーパービジョン	1	11/26	職員1人
区保健所給食技術者講習	1	1/23	栄養士
東京都集団指導	2	1/29 2/1	施設長
利用者権利擁護研修	1	1/30	施設長
東社協労働契約法他	1	2/1	事務員
高齢者施設震災対策	1	2/21	係長
ヘルプカード普及促進	1	3/4	事務員

6. 保守点検及び修繕報告

(1) 建物維持管理及び保守点検関係

夜間及び休業日については施設が無人となるため、建物警備に関し専門業者と機械警備契約を結んでいる。近隣町会へ会議室等の貸し出しがある為、2種類の警備方式を設定している。

建物全体は築11年目であるが、大きな修繕等はなく以下の通り通常の建物維持契約の範囲で保守点検等を実施した。ただし、荒天時は建物事務所西側の壁と床の間より漏水があるため、屋上の防水対応や外壁再塗装等の補修工事が今後予想される。

	実施内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
機械設備	冷暖房機器		○						○				
	天井換気扇		○						○				
	ガス給湯器		○						○				
	加圧ポンプ		○						○				
	キュービクル		○		○		○		○		○		○
定期清掃	床ワックス	○		○		○		○		○			
	床剥離											○	
	窓ガラス					○						○	
	グリストラップ		○			○			○			○	
	屋上	○				○				○		○	
	流し台	○		○		○		○		○		○	
	厨房用換気ファン	○		○		○		○		○		○	
特別清掃	照明器具							○					
	天井・壁面							○					
	サッシ					○							
	排水溝・倉庫							○					
	空気吹出口・換気扇							○					
	沈砂槽・雨水槽							○					
	ブラインド							○					
その他	自動ドア								○				
	シャッター						○					○	
	エレベーター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電話装置					○							
	害虫駆除			○				○					
	消防設備						○					○	
	植栽剪定・消毒			○				○					
排水管高圧洗浄							○						

* 毎営業日の館内清掃は昨年から同一業者に委託している。

(2) 車輛保守点検

常時整備された状態で使用する等、日頃から点検業務に努めた他、職員の安全運転教育を徹底することで事故防止に努めたが、職員による利用者送迎後、信号待ち車両に後方から追突する事故があった。

7. 固定資産物品・備品購入

購入備品一覧	数量	金額
パソコンサーバー (一式)	1	599,900
構内電話 (一式)	1	1,312,500
厨房内業務用食器洗浄機	1	997,500
合 計・8・		2,909,900

8. ボランティア受け入れ

年間を通じ受け入れを行った。これからも気軽に立ち寄れ、自主自発的なボランティア活動が行えるよう、実践報告や雰囲気作りに努めたい。

平成24年度 ボランティア実績延べ人数

月	定 期	不定期	月	定 期	不定期	月	定 期	不定期
4	0	2	8	0	3	12	0	4
5	0	32	9	0	3	1	0	14
6	0	18	10	0	2	2	0	12
7	0	22	11	0	7	3	0	11
小計	0	74	小計	0	15	小計	0	41

9. 実習生受け入れ

本年度の受け入れ実績については下表のとおり。新年度も積極的な受け入れを行いたい。

受入月日	要請施設・団体	人数
5/17-18	江戸川特別支援学校	1
6/25-27	葛飾特別支援学校	1
8/6-7	住吉小学校新任教諭	1
9/25-27	葛飾特別支援学校	1
12/3-7	双葉中学校（職場体験）	2
12/17-18	白鷺特別支援学校	2
1/16-17	東京大学成年後見講座	1
1/28-2/8	東京医療秘書専門学校	3
2/12-25	聖徳大学短期大学部	2
2/19-20	東京大学成年後見講座	1
3/4	中川中学校（ボラ体験）	2
3/13-29	篠原学園専門学校	1

10. 地域交流計画及び行事計画

(1) 地域交流行事

①「アロマルーム」 8月24日（金）10：30～12：00

昨年に引き続き、地域の方に声をおかけして、施設内で利用者と合同でアロマによるリラクゼーションを楽しむ機会をもうけた。参加いただいたお客様から好評をいただいた。

②「氷川神社例大祭への協力」 9/15（土）

昨年に引き続き、地域町会の例大祭実施に合わせ、施設設備（駐車場やトイレの貸し出し）の解放を行い、非常に喜ばれた。飛び入りで職員が神輿担ぎの手伝いを行った。

③「第11回くすのき祭」 10月7日（日）11：00～15：00

例年通り行事を通して地域の方にくすのき園を知ってもらう企画とした。日中の利用者支援を職員が行えないため、基本的には昨年同様、利用者については自由参加方式（利用者参加時は家族もしくはヘルパー等の付き添いを依頼）とした。模擬店やバザー、子供が楽しめる企画をふんだんに用意し好評を得た。利用者を通常当園にしてほしいとの要望を保護者から受けており、実施方法、内容、環境を含め検討課題となっている。

(2) 年間行事

①宿泊旅行

これまでの経緯を踏まえ、実施回数を5回とし、行き先を2か所からの選択制とした。送迎については、全回とも大きなバスを利用することとした。行き先のうちディズニーランドの希望が強く寄せられたが、当初の見込みになかったため、費用の自己負担を若干求めた結果、一部に混乱を招いた。宿泊については、実施回数と利用者集団規模、送迎方法、不参加組の休園システム等について課題が多く、踏み込んだ検討が必要である。

	月日	旅行先	利用者数
1回目	9/6-7	伊豆長岡方面	9
2回目	9/20-21	ディズニーランド方面	12
3回目	10/25-26	伊豆長岡方面	12
4回目	11/1-2	ディズニーランド方面	12
5回目	11/15-16	伊豆長岡方面	9

②クリスマス会 12月21日(金) 13:45~14:45

午前中はゆったり過ごし午後実施する形態とした。今年度は、20人以上の保護者と利用者・職員による合同のダンスレクレーションとした。毎年好評のプレゼントとクリスマス給食は本年も利用者には大変好評であった。当園シンボルツリーである「くすのき」に電飾を施し、雰囲気を楽しんだ。

③新年会(餅つき・獅子舞) 平成25年1月8日(火) 10:45~11:30

送迎委託業者の協力を得て利用者全員が餅つきを行った。冬期長期休業の後だったが、にこやかな笑顔が見られ新年にふさわしい行事となった。ついたお餅はティータイム時にお汁粉として提供した。

④新成人を祝う会 1月9日(水) 10:30~11:30

本年度は1人の新成人を祝う会となった。ご家族からこれまでの成長をたどる写真をお預かりし、プロジェクターで投影した。他の保護者の皆さんの参加もあり、新年にふさわしい華やいだ雰囲気を実施することができた。

11. 防災避難訓練計画

雨天等で毎月の実施はできなかったが、火災による避難訓練を中心に実施した。主な訓練内容は通報・消火・避難誘導・避難経路状況把握といった一連の流れを訓練する「通報・避難訓練」を行った。近隣地域との防災協定は締結できていないが、地域主催の防災訓練に職員が1人オブザーバー参加した。このほか、区主催の避難所開設訓練に施設長がオブザーバーで参加した。

12. 給食

(1) 年間計画に基づき実施した。

①主食セレクト 月に1回の割合でごはんまたはロールパンのセレクトを実施した。

②主菜セレクト 3ヶ月に1回の割合で実施した。

③行事食 年間7回(入所式、クリスマス等)

④お楽しみ給食

都合4回実施した。「世界のお祭り 6/29・7/11」「京都料理 11/15・28」というテーマを設け、普段とは違う給食を楽しんだ。

(2) 残菜・嗜好調査 1月(21~25)に予定通り実施した。

(3) 保護者対象試食会 3月1日(金)

食後のアンケートの結果、味つけ、量、盛り付けともに満足度は高かった。事前に給食写真、料理レシピの一部を用意した。

(4) ティールーム 3月19日(火)

年度末恒例の催しとして、利用者を対象とした喫茶タイムを行った。めいめいが好きなケーキと、お茶を選択し、楽しいひと時となった。

13. 保健

(1) 日常の健康管理

日常の利用者健康管理を看護師が中心に行った他、嘱託医が定期的に来園し、看護師と共に施設内を巡回し、利用者健康状態の把握に努めた。

(2) 内科・精神科嘱託医による施設内巡回及び健康相談

来園日は看護師と共に施設内を巡回し、利用者の健康チェックを行った。この他、家族からの相談、インフルエンザ予防接種(利用者・職員)を行った。管理栄養士との合同相談では、栄養指導も併せて行うことにより、利用者の肥満対策に大変効果があった。ご家族自身の相談を受けることもあり、専門家からのアドバイスに感謝の声をいただいている。

(3) 定期健康診断

4月18日(水)、19日(木)に、葛飾検診センターの協力を受け施設内で総合検診を実施した。結果を家庭に報告すると共に2次検診が必要な方については、それぞれの家庭の判断で行っていただいた。その他、検便による細菌検査及びO-157検査を全利用者対象に行った。

(4) 歯科検診

6月6日(水)、12月5日(水)の2回、嘱託歯科医師により施設内で実施した。終了後、医師から表彰対象者の推薦をうけ、数名に表彰状を授与した。

(5) 摂食・嚥下指導

歯科検診とは別に、嚥下状態の検査(内視鏡VE検査)を訪問診療という形態で実施した。ご家族の付き添いをお願いし、施設内で実施したが、職員にとっても「咀嚼と嚥下」に関する学習の機会となり大変有効であった。

14. 業者委託等(給食・送迎)

(1) 給食(アイビス株式会社)

利用者および施設の細かい要望等を取り入れた給食を提供した。年度内に次年度契約のプロポーザルを実施し、新年度から委託事業者が変更の予定である。

(2) 利用者送迎(宮園自動車)

日常の送迎については利用者及び送迎時間に大きな影響が出ることはなかった。一日外出では主に施設公用車の運転を行う他、区内ショートステイの送迎を行った。

運転手(5人)は、玄関周りの清掃や、小破修理等で協力を行ってくれた。添乗員(4人)については、利用者支援のサポートに入る他、食堂の清掃を行った。

(3) 館内日常清掃

ワックスがけ等の館内定期清掃及び日常清掃について、委託業者により実施した。

(4) 講師

①理学療法士：年間47回 水曜日午前(機能訓練)

計画通り利用者の機能訓練を行った。施術時間及び該当利用者人数の関係から1回あたりの利

用者数は、該当利用者の半数であったが、大きな混乱なく実施できた。職員指導も適宜行った。

②音楽療法士：年間46回 火曜日・金曜日（音楽療法）

知的障害者への音楽療法は、心の安定や自己表現の表出援助につながっており、楽しみにしている利用者も多い。情緒の安定に寄与する音楽の特性を生かした取り組みは、今後ますます重要となる。

以上